

# 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
  - 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
    - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
    - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
    - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
  - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ)本書のご提示がない場合
  - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合  
(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
  - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ラジオ付マルチレコードプレーヤーシステム			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RDP-B300N	品番	03-7300	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな ★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー 電話 ( )						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<http://www.ohm-electric.co.jp>

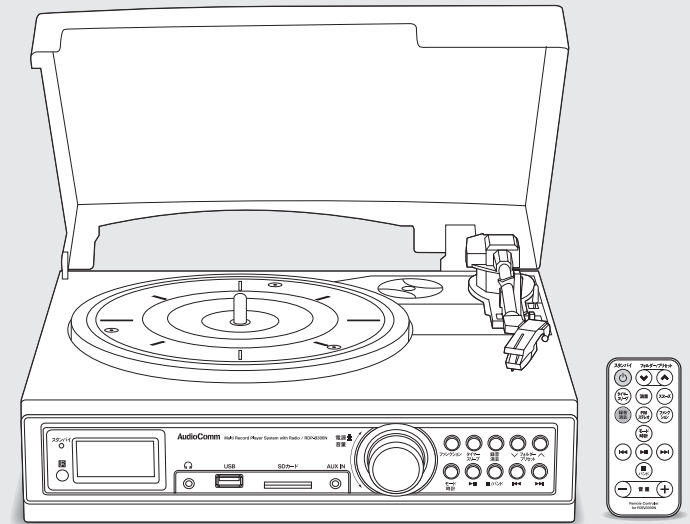
製品に関するお問い合わせは <b>お客様相談室</b> へ	
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは <b>0120-963-006 048-992-2735</b>	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は <b>修理ご相談センター</b> へ	
電話受付	<b>048-992-3970</b> 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

# AudioComm®

## 保証書付 取扱説明書

### ラジオ付マルチレコードプレーヤーシステム

型番 RDP-B300N  
品番 03-7300



このたびは、  
**AudioComm®ラジオ付マルチレコードプレーヤーシステム**  
をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

## 目次

免責事項	1
著作権について	1
安全上のご注意	2～4
USBメモリーとSDカードについて	4
使い始める前に	4
各部の名称	5～6
電源プラグの接続と電源の入/切について	6
リモコン用コイン形電池について	7
外部機器へ音声を出力するときは	7
時刻設定のしかた	8
バックライトについて	8
レコードを聴く	9～10
ラジオを聴く	11～12
USBメモリーやSDカード内のファイルを再生する	13～14
外部機器と接続して本機をスピーカーとして使う	15
USBメモリーやSDカードに録音する	16
USBメモリーやSDカード内のファイルを消去するには	17
タイマーの使いかた	17～18
スリープ機能の使いかた	18
消音について	19
ヘッドホンで聴くときは	19
レコード針の交換方法	19
故障かなと思ったら	20～21
お手入れのしかた	21
主な仕様	22
保証書とアフターサービスについて	22
保証書	裏表紙

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 著作権について




放送やCD、MD、レコードその他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## 安全上のご注意




電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

### 絵表示について









この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

### 絵表示の使用例



	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

## 警告









	コンセントから抜く	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>● 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</li> </ul>		接続場所を選ぶ	<p>電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。</li> <li>● 本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。</li> </ul>
	使用を中止する	<p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>● 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</li> </ul>		水かけ禁止	<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>● 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</li> </ul>
	接触禁止	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電のおそれがあります。</li> </ul>			<p>本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電や故障の原因となります。</li> </ul>
	分解禁止	<p>本機を分解、修理、改造しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 火災・感電の原因となります。</li> </ul>		電池に注意	<p>コイン形電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から取り外した場合は、小さなお子様か誤って飲み込むことがないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。</li> </ul>

## 安全上のご注意(つづき)

### 警告

 禁止	狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。	 禁止	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器をえるのは日本国内のみです。		電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。		本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。
	本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない		電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。

### 注意

 濡れ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。	 禁止	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波により互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	 コンセントから抜く		旅行などで長期使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●火災の原因となることがあります。
 音量に注意	音量を上げすぎない ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	 注意	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	 電池の極性に注意		コイン形電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 掃除をする	電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまるると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。	 注意	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。強い衝撃を与えない ●落ちたり、倒れたりしてけがをしたり、破損や故障の原因となります。
			電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

## 電池を安全にお使いいただくために(リモコン用コイン形電池)

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

電池を飲み込まないでください。化学反応による障害の危険があります。

- この製品に付属するリモコンには、リチウムコイン形電池を含んでいます。リチウムコイン形電池を飲み込むと、2時間間定らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至る場合があります。
- 新しい電池及び使用済みの電池は、子供の手が届かないところに保管してください。
- 電池収納部がしっかり閉まらない場合は、製品の使用を中止し、子供の手が届かないところに保管してください。
- 電池を飲み込んでしまった、または電池を飲み込んだ疑いがある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

### 警告

- 火中への投入、加熱、分解をしない
- ショートさせない
- むき出しのまま、他の電池を混ぜて保管しない(保管するときや廃棄するときはビニールテープなどを貼って絶縁する)
- 直射日光や火などの過度の熱にさらさない

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

### 注意

- ⊕⊖の表示通りに入れる
- 指定以外の電池を入れない
- 使い切った電池はすぐに取り出す
- しばらく使わないときは電池を取り外しておく

- 使用済みの電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

## USBメモリーとSDカードについて

本機では、レコードやラジオ放送をUSBメモリーやSDカードに録音したり、USBメモリーやSDカード内の音楽ファイルを再生することができます。USBメモリー・SDカードともに最大32GBまでのメディアに対応していますが、以下の制限がありますのでご注意ください。

【USBメモリー・SDカードへの録音】 ファイル形式はMP3形式(対応ビットレート：128kbps)となります。

【USBメモリー・SDカードの再生】 再生可能なファイル形式はMP3形式(対応ビットレート：64～192kbps)です。

- MP3形式以外のファイル形式は再生できません。また、MP3形式であっても再生できない場合があります。
- DRM(著作権保護)付ファイルは再生できません。
- メディア内にMP3形式以外のファイルを混在させないでください。MP3形式以外のファイルがあると、メディア自体を認識しなかったり、メディアは認識しても再生できない場合があります。
- メディア内のフォルダー階層が複雑になると、認識するまでに時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 本機は、すべてのUSBメモリー・SDカードとの接続及び動作を保証するものではありません。

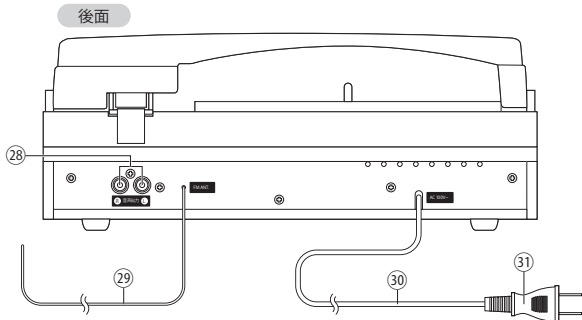
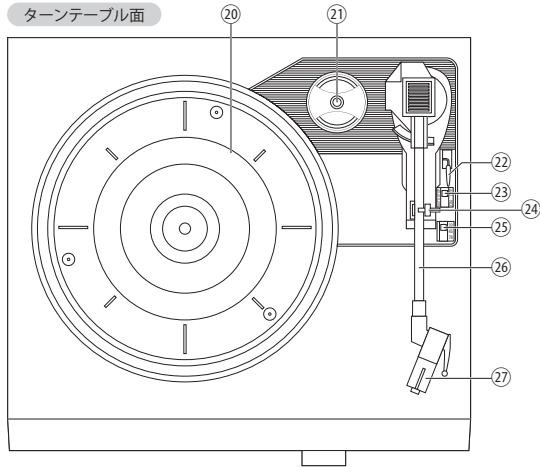
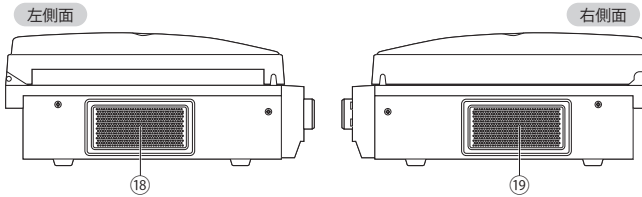
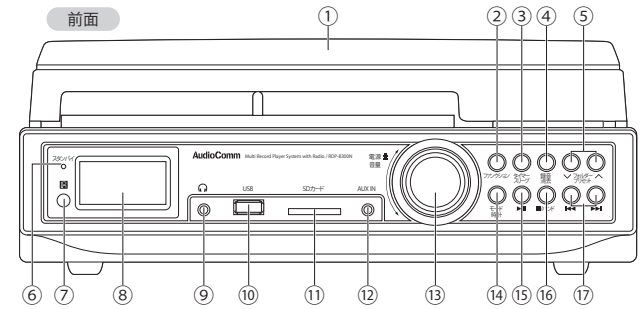
本機がメディア内のMP3ファイルを読み込む順序は、基本的には以下の通りです。

1. 本機にて録音したファイル(「JL\_REC」フォルダー内のファイル)が最優先に読み込まれます。
  2. それ以外のフォルダーはルート階層から順に深い階層へ、同一階層は収録の古いほうから新しいほうへ順に読み込まれます。
  3. 同一階層にあるファイルは、収録順序の古いほうから新しいほうへ順に読み込まれます。
- ※ただし、メディアの状態やフォルダー／ファイルの追加、移動、消去、名称変更などにより、読み込む順序が変わったり、再生できなかったり、表示されるフォルダー／ファイル数が変わる場合があります。

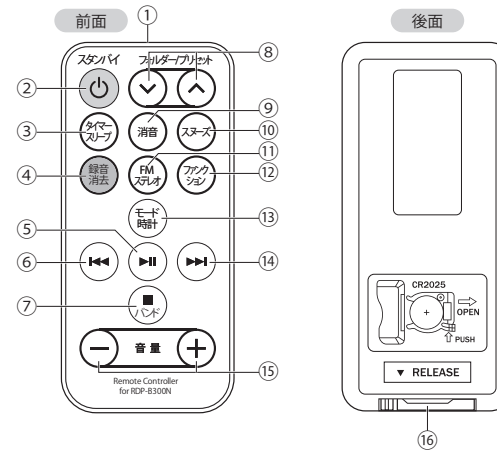
## 使い始める前に

製品保護のため、本機のトーンアームは結束ワイヤーで固定されています。ご使用前に必ず結束ワイヤーを取り外してください。付けたまま使うと故障や破損の原因となります。また、トーンアーム先端のレコード針の部分は、白い半透明のプラスチックカバーで保護されています。この状態のまま使うとレコードを傷つける原因となりますので、ご使用時は必ずカバーを取り外してください。

## 各部の名称



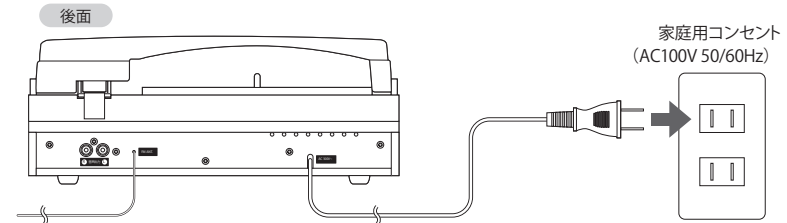
- ①ダストカバー
- ②ファンクション切換ボタン
- ③タイマー/スリープボタン
- ④録音/消去ボタン
- ⑤フォルダー/プリセットボタン(V/∧)
- ⑥スタンバイランプ
- ⑦リモコン受信部
- ⑧ディスプレイ
- ⑨ヘッドホン端子
- ⑩USB端子
- ⑪SDカードスロット
- ⑫AUX IN (外部音声入力) 端子
- ⑬電源/音量ツマミ
- ⑭モード/時計ボタン
- ⑮再生/一時停止ボタン
- ⑯停止/バンド切換ボタン
- ⑰選局/スキップボタン(◀▶)
- ⑱左スピーカー
- ⑲右スピーカー
- ⑳ターンテーブル
- ㉑EP盤用アダプター
- ㉒キューレバー
- ㉓オートストップ切換スイッチ
- ㉔アームレスト(アームレストホルダー)
- ㉕回転スピード切換スイッチ
- ㉖トーンアーム
- ㉗カートリッジシェル
- ㉘音声出力端子
- ㉙FMワイヤーアンテナ
- ㉚電源コード
- ㉛電源プラグ



- ①信号送信部
- ②スタンバイボタン
- ③タイマー/スリープボタン
- ④録音/消去ボタン
- ⑤再生/一時停止ボタン
- ⑥選局/スキップボタン(◀▶)
- ⑦停止/バンド切換ボタン
- ⑧フォルダー/プリセットボタン(V/∧)
- ⑨消音ボタン
- ⑩スヌーズボタン
- ⑪FMステレオボタン
- ⑫ファンクション切換ボタン
- ⑬モード/時計ボタン
- ⑭選局/スキップボタン(▶▶)
- ⑮音量ボタン(-/+)
- ⑯電池トレイ

## 電源プラグの接続と電源の入/切について

お使いになるときは電源プラグを家庭用コンセントに接続します。正しく接続すると、スタンバイランプとディスプレイのバックライトが点灯し、「--:--」(時刻表示)が点滅します。「時刻設定のしかた」を参照して、時刻を設定してください。



**ご注意**  
電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでください。不完全な状態ですと雑音発生の原因になります。

## 電源を入れる/電源を切る

電源を入/切するときは、本機の電源/音量ツマミを押すか、リモコンのスタンバイボタンを押します。

- 電源/音量ツマミはカチッと音がするまでしっかり押してください。
- 電源が入るとスタンバイランプが消灯し、ディスプレイのバックライトが明るく点灯します。
- 電源が切れると、スタンバイランプが点灯します。また、バックライトが暗くなり、現在の時刻を表示します(スタンバイ状態)。



ディスプレイの表示内容は、お使いのファンクションによって異なります。

現在の時刻を表示します。

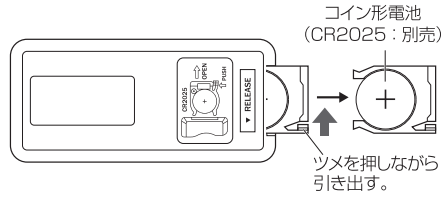
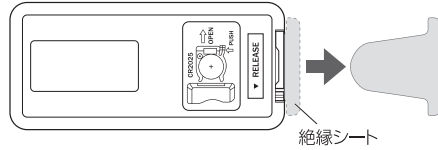
## リモコン用コイン形電池について

### お買い求め時

リモコン後面の電池トレーに差し込まれている絶縁シートを引き抜くと、そのまますぐにお使いいただけます。付属のコイン形電池は動作確認用です(保証対象外です)。

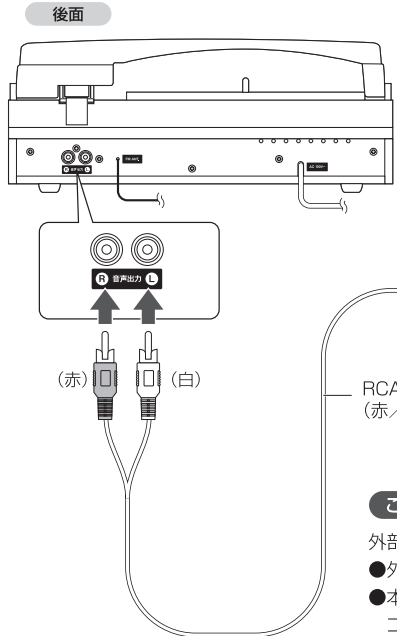
### 交換するときは

リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときはコイン形電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。



- 1 電池トレーのツメを、矢印(↑)の方向に押しながらかき出します。
- 2 新しいコイン形電池(CR2025: 別売)を電池トレーに入れます。  
●+の刻印側を上にして入れてください。
- 3 電池トレーを元どおりにしっかり差し込みます。

## 外部機器へ音声を出力するときは



ステレオコンボやスピーカーシステムなどに本機の音声を出力することができます。

本機及び外部機器の電源が切れている状態で、本機の音声出力端子と外部機器のAUX IN(外部音声入力)端子を、RCAコード(赤/白: 別売)を使って接続してください。プラグの色(赤/白)と同じ色の端子にそれぞれ接続してください。

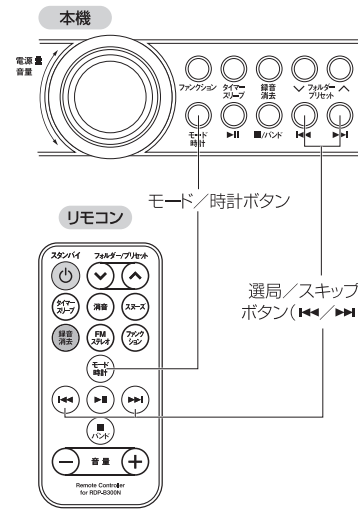


### ご注意

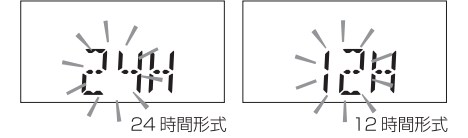
- 外部機器への音声出力を行なった場合でも、本機のスピーカーから音が出ます。
- 外部機器の音量調節は、外部機器側で行なってください。
  - 本機の音を消したいときは、本機の音量設定を最小にしてください。ただし、リモコンの消音ボタンを押した場合は、外部機器からの音声出力も止まります。

## 時刻設定のしかた

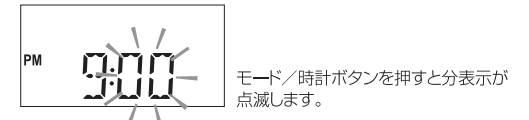
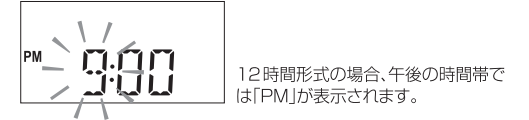
電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に操作してください。



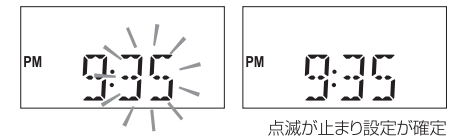
- 1 モード/時計ボタンを長押しします。  
●「24H」または「12H」が点滅します。
- 2 選局/スキップボタン(◀▶)を押して時刻の表示形式を選び、モード/時計ボタンを押します。



- 3 選局/スキップボタン(◀▶)を押して「時」を選び、モード/時計ボタンを押します。  
●モード/時計ボタンを押すと、分表示が点滅します。



- 4 選局/スキップボタン(◀▶)を押して「分」を選び、モード/時計ボタンを押します。  
●設定が確定し、点滅が止まります。



### ご注意

- 何も操作しない時間が5~7秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。
- 時刻設定をしないと、タイマー機能は使えません。

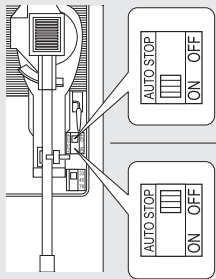
## バックライトについて

電源が切れているときに本機またはリモコンのいずれかのボタン(本機の電源/音量ツマミ及びリモコンのスタンバイボタンを除く)を押すと、ディスプレイのバックライトが約10秒間明るくなります。

# レコードを聴く

## ヒント オートストップ機能について

本機にはオートストップ機能があり、ONとOFFを切り換えることができます。



### オートストップ切替スイッチが「ON」のときは：

トーンアームの動きに合わせてターンテーブルが回転し、演奏が終わると自動停止します。  
 ※ただしトーンアームは自動では戻りませんので、手でアームレストに戻してください。  
 ※EP・SP盤のレコードを演奏しているときは、盤の終わりに近づくと途中で停止してしまうことがあります。そのようなときは、「OFF」にしてお使いください。

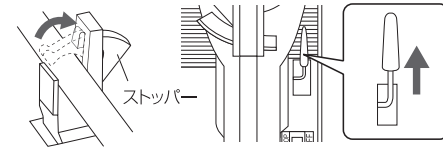
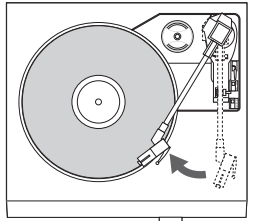
### オートストップ切替スイッチが「OFF」のときは：

電源を入れ、ファンクションを「PHON」にすると同時に、ターンテーブルが回転を始めます。  
 ※演奏終了後もターンテーブルが回り続けますので、演奏が終わったらすぐにキューレバーを上げて、トーンアームをアームレストに戻してください(自動では戻りません)。そのまま放置するとレコード針の損傷や音質低下の原因になります。

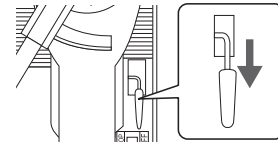
- ファンクション切替ボタンを押して「PHON」を選びます。  
 ●オートストップ機能が「OFF」のときは、ターンテーブルが回転し始めます。



- アームレストホルダーのストッパーを外し、キューレバーを上げます。  
 その後、トーンアームを演奏したい場所の上に移動させます。  
 ●オートストップ機能が「ON」のときは、トーンアームをレコード盤に近づけるとターンテーブルが回転し始めます。



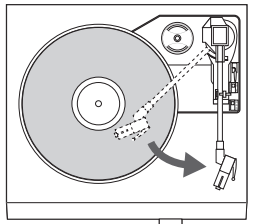
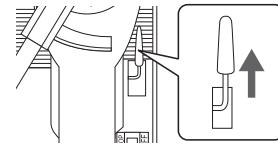
- キューレバーを下げます。  
 ●レコード針がゆっくりと下りて演奏が始まります。



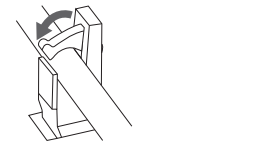
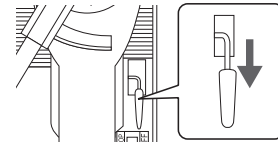
- 電源／音量ツマミを回して音量を調節します。  
 ●リモコンの場合は音量ボタン(-/+ )を押して調節してください。  
 ●音量レベルは約5秒間表示されます。  
 ●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。



- 演奏を終了するときは、キューレバーを上げて、トーンアームをアームレストの位置まで戻します。



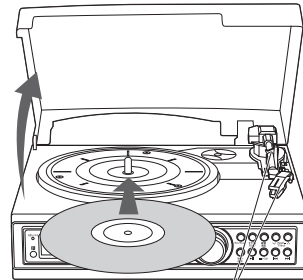
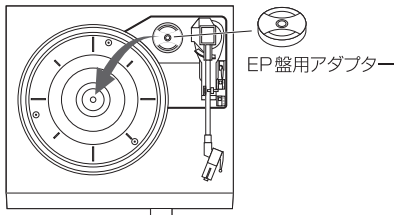
- キューレバーを下げて、トーンアームがアームレストホルダーの高さまで下りたら、ストッパーをかけて固定します。



### ご注意

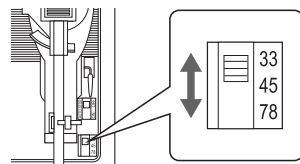
トーンアームはゆっくり下ります。無理に指で押さえたりしないでください。破損や故障の原因になります。

- ダストカバーを開けて、レコードをセットします。  
 ●トーンアームを固定している結束ワイヤーとレコード針に取り付けられている白い半透明のプラスチックカバーを、事前に必ず取り外してください。  
 ●EP盤の場合は、EP盤用アダプターをターンテーブルの軸部に装着し、その上からセットしてください。



結束ワイヤーと半透明の白いプラスチックカバーを取り外す

- レコード盤の種類に合わせて回転スピード切替スイッチを切り換えます。  
 ●多くの場合、LP盤は33回転、EP盤は45回転、SP盤は78回転です。



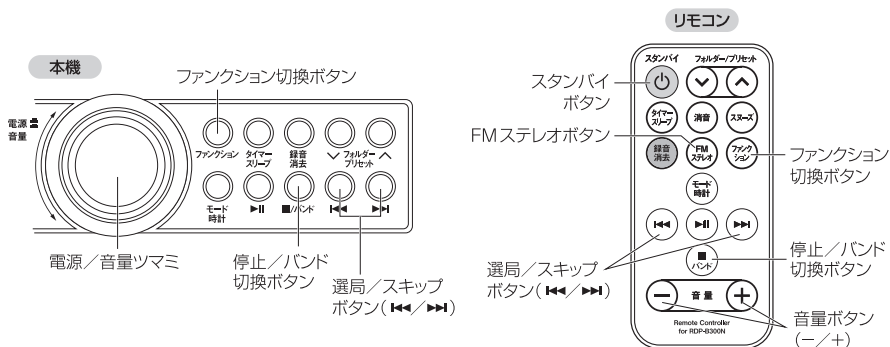
- 電源／音量ツマミを押して電源を入れます。  
 ●リモコンの場合は、スタンバイボタンを押すと電源が入ります。

- 終了するときは音量を絞りを、電源／音量ツマミを押して電源を切ります。  
 ●リモコンの場合は、スタンバイボタンを押します。

### ご注意

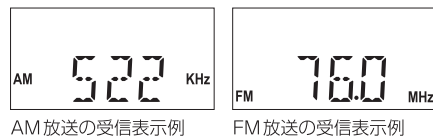
- トーンアームを操作するときは、レコード盤を傷つけないようご注意ください。
- 使い終わったらレコード盤を本機にセットしたままにせず、ジャケットに入れて保管してください。また、アームレストホルダーのストッパーもしっかりと固定し、ほこりなどから本機を保護するため、ダストカバーを閉じてください。

## ラジオを聴く



- 電源/音量ツマミを押して電源を入れます。  
●リモコンの場合は、スタンバイボタンを押すと電源が入ります。

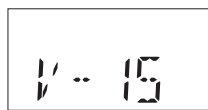
- ファンクション切換ボタンを押して「TUNE」を選びます。その後、必要に応じて停止/バンド切換ボタンを押し、お聴きになりたいバンド(AMまたはFM)を選びます。  
●「TUNE」と表示された後、AM放送またはFM放送の周波数表示になります。



- 選局/スキップボタン(◀▶)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。  
●AM放送では9kHzごとに、FM放送では0.1MHzごとに周波数が送られます。  
●選局/スキップボタン(◀▶)を長押しすると、周波数が自動で送られ、一番最初に受信できた放送局で止まります。  
●FMステレオ放送を受信中にリモコンのFMステレオボタンを押すと、ステレオ音声とモノラル音声を切り換えることができます(モノラル音声に変更するときは「MONO」が、ステレオ音声に変更するときは「ST.」がしばらく表示され、その後周波数表示に戻ります。ステレオ音声でノイズが多いときは、モノラル音声にすると軽減される場合があります。



- 電源/音量ツマミを回して音量を調節します。  
●リモコンの場合は音量ボタン(−/+ )を押して調節してください。  
●音量レベルは約5秒間表示されます。  
●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。



- 終了するときは音量を絞り、電源/音量ツマミを押して電源を切ります。  
●リモコンの場合は、スタンバイボタンを押します。

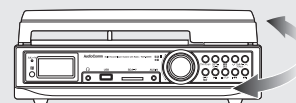
### FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

### 受信状態を良くするには

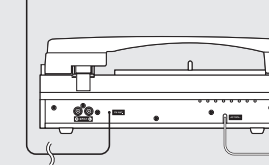
#### ●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



#### ●FM放送の受信

FMワイヤーアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなる場所にテーブなどで留めます。



- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

### よく聴く放送局をメモリー登録するには

よく聴く放送局をメモリー登録するには、オートスキャン(一括登録)と手動登録の2つの方法があります

#### オートスキャン(一括登録)

本機	リモコン		
		ラジオ受信中に再生/一時停止ボタンを押すと、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順に登録していきます(AM、FMそれぞれ最大30局)。 ●受信可能な放送局が見つかったら、一時的にラジオ音声流れ、P-01、P-02などのプリセット番号が表示されます。 ●オートスキャンが終わると、P-01に登録された放送局を受信します。	
			プリセット番号

#### 手動登録

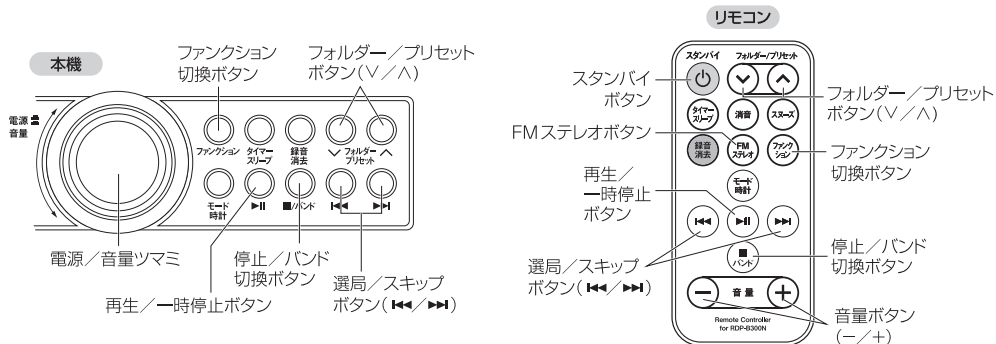
本機	リモコン		
		登録したい放送局を受信している状態で、モード/時計ボタンを押します。 ●プリセット番号が点滅表示されます(表示される番号はすでに登録されている放送局数などにより異なります)。	
			点滅

本機	リモコン	
		必要に応じて、フォルダー/プリセットボタン(V/Λ)を押してプリセット番号を変更し、モード/時計ボタンを押すと登録が完了します。

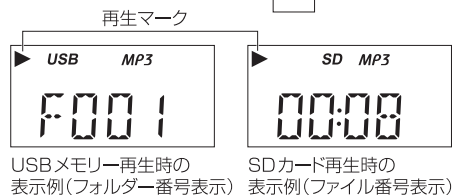
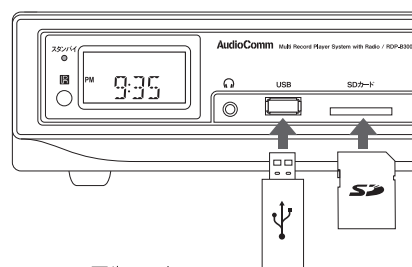
#### ヒントとご注意

- 登録された放送局を選ぶには：フォルダー/プリセットボタン(V/Λ)を押してプリセット番号を選んでください。
- オートスキャンの後に手動登録した場合、または手動登録後にオートスキャンを行なった場合、同じプリセット番号は上書きされます。特に若いプリセット番号(P-01、02、03など)は、影響を受けやすくなりますのでご注意ください。

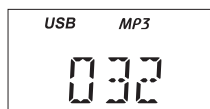
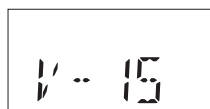
## USBメモリーやSDカード内のファイルを再生する



- 電源が切れている状態で、USBメモリーまたはSDカードを本機に装着します。
  - 向きに注意しながら奥までしっかり差し込んでください。
- 電源/音量ツマミを押して電源を入れます。
  - リモコンの場合は、スタンバイボタンを押すと電源が入ります。
- ファンクション切換ボタンを押して「USB」(USBメモリー)または「CARD」(SDカード)を選びます。
  - 正しく読み込まれると、自動で再生が始まります。
  - 本機の規格に合ったメディアを差し込んだにもかかわらず、「NO」と表示されることがあります。その場合はファンクション切換ボタンを数回押しして一巡させ、もう一度「USB」または「CARD」を選んでみてください。
  - 再生中は再生マーク(▶)とともに、フォルダー番号(Fで始まる3桁の数字)、ファイル番号(3桁の数字)、経過時間が繰り返し表示されます。



- 電源/音量ツマミを回して音量を調節します。
  - リモコンの場合は音量ボタン(-/+ )を押して調節してください。
  - 音量レベルは約5秒間表示されます。
  - 音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 再生を一時停止するときは、再生/一時停止ボタンを押します。
  - 一時停止中は再生マークが消えます。
  - もう一度押しすと再生を再開します。
- 停止するときは、停止/バンド切換ボタンを押します。
  - 総フォルダー/ファイル数が表示されます(ただし、実際の数と異なる数字が表示されることがあります)。



総フォルダー/ファイル数の表示例

- 終了するときは音量を絞って、電源/音量ツマミを押して電源を切ります。
  - リモコンの場合は、スタンバイボタンを押します。

### ご注意

- 再生時に表示されるフォルダー番号、ファイル番号は、フォルダー/ファイルの追加・消去などにより、変わる場合があります。
- 通常、停止時に表示される総フォルダー/ファイル数は、フォルダー数+ファイル数+1(1はメディア自体)となりますが、フォルダー/ファイルの追加・移動・消去、本機による録音追加などにより変わる場合があります。
- USBメモリーやSDカードを取り外すときは、必ず電源を切るか、ファンクション切換ボタンを押して他のファンクションに変更した後に行なってください。

### ファイル操作/フォルダー操作

USBメモリーやSDカード再生時の主なボタン操作は以下のとおりです。

再生/一時停止ボタン	再生一時停止
停止/バンド切換ボタン	停止
選局/スキップボタン(◀)	一つ前のファイルを再生(長押しすると早戻し)
選局/スキップボタン(▶)	次のファイルを再生(長押しすると早送り)
フォルダー/プリセットボタン(V)	一つ前のフォルダーに移動して再生
フォルダー/プリセットボタン(Λ)	次のフォルダーに移動して再生

## リピート再生

### 本機

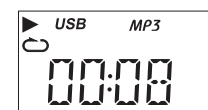


### リモコン

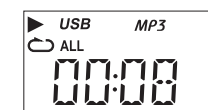


再生中にモード/時計ボタンを押すと、リピート再生になります。

- 1回押すと聴いているファイルを繰り返し再生します(シングルリピート)。
- 2回押すとメディア内の全ファイルを繰り返し再生します(オールリピート)。
- リピート再生を解除するには、モード/時計ボタンを数回押しして、ALL を消してください。



シングルリピート

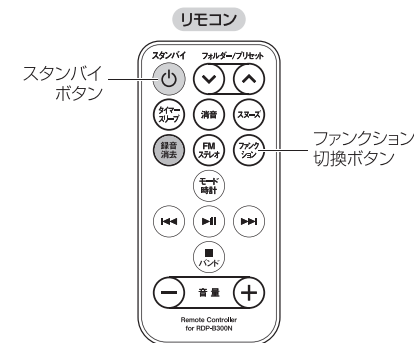
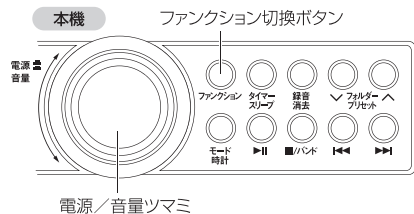


オールリピート

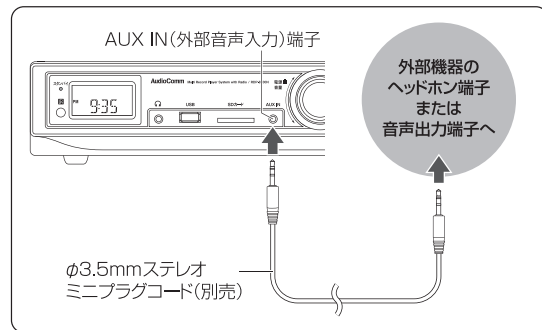


## 外部機器と接続して本機をスピーカーとして使う

本機のAUX IN(外部音声入力)端子と外部機器のヘッドホン端子、または音声出力端子をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続することで、本機をスピーカーとして使うことができます。



- 1 双方の電源が切れている状態で、下図を参照して本機と外部機器を接続します。



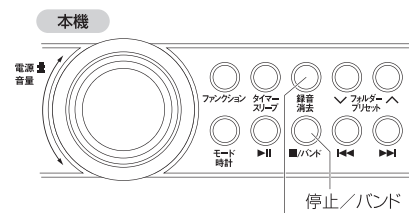
- 2 双方の電源を入れた後、ファンクション切換ボタンを押して「AUX」を選びます。



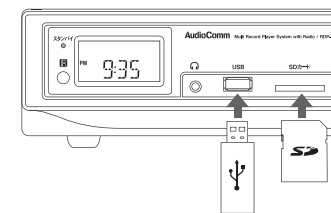
- 3 外部機器側で再生などの操作をします。
  - 音量操作は本機の音量ボタン(-/+ )やリモコンの音量ボタン(-/+ )でも可能ですが、本機またはリモコン側で過度に大きくなった場合、他のファンクションに移行時、大音量を発することがありますので十分ご注意ください。
- 4 終了するときは音量を絞り、電源/音量ツマミを押して電源を切ります。
  - リモコンの場合は、スタンバイボタンを押します。
  - 外部機器の電源も切った後で、接続を解除してください。

## USBメモリーやSDカードに録音する

本機では、レコードやラジオ放送、AUX IN(外部音声入力)端子に接続された機器の再生音を、USBメモリーまたはSDカードに録音することができます。録音するとメディア内に「JL\_REC」フォルダーが生成され、「FILE0000.MP3」からの連番でファイルが保存されていきます。



- 1 電源が切れている状態で、USBメモリーまたはSDカードを本機に装着します。



●向きに注意しながら奥までしっかり差し込んでください。

- 2 電源を入れた後、音源となるファンクションを選び、演奏/受信/再生などの操作をします。
  - レコード：P.9～10を参照して演奏してください。
  - ラジオ：P.11～12を参照して録音したい放送局を受信してください。
  - AUX IN(外部音声入力)端子：P.15を参照して再生してください。

- 3 録音/消去ボタンを押すと、録音が始まります。
  - RECが一度点滅した後、点灯に変わり、録音が始まります。
  - 録音レベルは一定ですので、本機またはリモコンで音量を操作しても影響はありません。ただし、外部機器接続による録音時に外部機器側で音量を操作すると、録音音量が変化します。



録音しているメディアを表示  
録音中の表示例

- 4 録音を終了するときは停止/バンド切換ボタンを押します。
  - 「End」と表示された後、録音が終了します。
  - 録音終了後もレコードの演奏は続きます。

## 分割録音(Track Split)について

本機では、手動または自動でファイルを分割しながら録音することができます。

### 手動録音のしかた

●録音しているときに、ファイルを分割したいところでモード/時計ボタンを押してください。一時的に「TS」と表示されて新しいファイルが生成されます(ラジオの場合、「TS」表示はありません)。

### 自動分割のしかた

●録音元となるファンクションを選んだ後、録音を開始する前に、モード/時計ボタンを押してください。「T-ON」がしばらく点滅した後、元の表示に戻りますので、その後録音を始めてください。  
●自動分割の場合、音声の空白部分(数秒間)を感知して、ファイルの分割が行われます。分割が行なわれると一時的に「TS」と表示されます。  
●自動分割を解除するには、録音していないときにモード/時計ボタンを押して「T-OFF」にしてください(しばらく点滅した後、設定が確定し、元の表示に戻ります)。

### ヒントとご注意

- 新ファイル生成に時間を要するため、新しいファイル移行時の最初の数秒間は録音されません。
- 自動分割の場合、ラジオ放送で無音声の時間が数秒間続いたり、音楽作品などで作者の意図により無音状態が挿入されている場合でも、それを感知してファイルが分割されることがあります。
- 自動分割にてレコードなどから録音しているときに、分割実行中に数秒間演奏動作が停止することがあります。この場合、新ファイル生成が完了すると、演奏(再生)が再開されます。

## USBメモリーやSDカード内のファイルを消去するには

本機



録音  
消去

リモコン



録音  
消去

- 消去したいファイルを再生し、一時停止の状態にします。
- 録音 / 消去ボタンを長押しします。
  - 一時的に「DEL」と表示されて、ファイルが消去されます。
  - 消去後は次のファイルが再生されますので、必要に応じて停止などの操作をしてください。

### ご注意

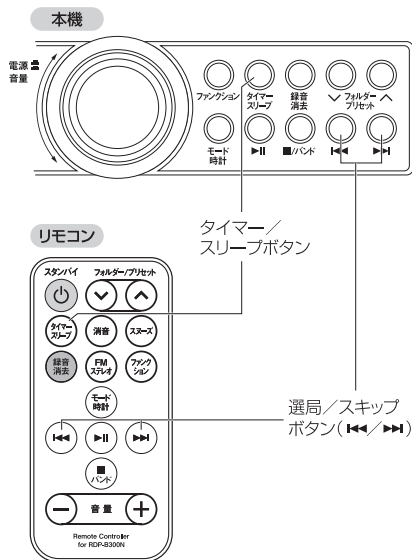
- フォルダーの消去はできません。パソコンなどで操作してください。
- 一度消去したファイルは復元できませんので十分にご注意ください。

## タイマーの使いかた

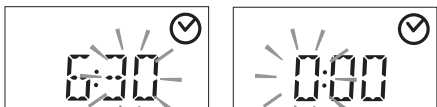
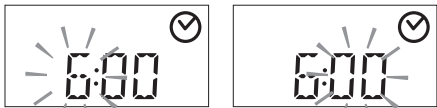
タイマーを使うと、電源が入る時間と切る時間を指定して、ラジオを聴いたり、USBメモリーまたはSDカードのファイルを再生することができます。あらかじめ、下記の準備をしてから、設定の操作を行なってください。

ラジオを聴くとき：お好みの放送局を受信した状態で電源を切る。

USBメモリー / SDカードを再生するとき：電源が切れている状態でUSBメモリーまたはSDカードを装着する。



- 電源が切れている状態で、タイマー / スリープボタンを長押しします。
  - 「ON」に続いて「☉」が表示され、「時」表示が点滅します。
- 選局 / スキップボタン(◀▶)を押して、タイマーが起動する「時」を選び、タイマー / スリープボタンを押します。
  - タイマー / スリープボタンを押すと、「分」表示が点滅します。
- 選局 / スキップボタン(◀▶)を押して、タイマーが起動する「分」を選び、タイマー / スリープボタンを押します。
  - タイマー / スリープボタンを押すと、「OFF」に続いて「時」表示が点滅します(切る時刻の設定へ)。
- ②③と同様の操作で、タイマーが切れる時刻を設定します。
- 選局 / スキップボタン(◀▶)を押してファンクションを選び、タイマー / スリープボタンを押します。
  - 「TUNE」(ラジオ)、「USB」(USBメモリー)、「CARD」(SDカード)から選んでください。



- 選局 / スキップボタン(◀▶)を押して、起動時の音量を設定し、タイマー / スリープボタンを押します。
  - タイマー / スリープボタンを押すと、電源入時間、電源切時間、起動ファンクション、音量設定が順に表示された後、現在の時刻表示に戻ります。タイマー設定が有効なときは「☉」が表示されます。



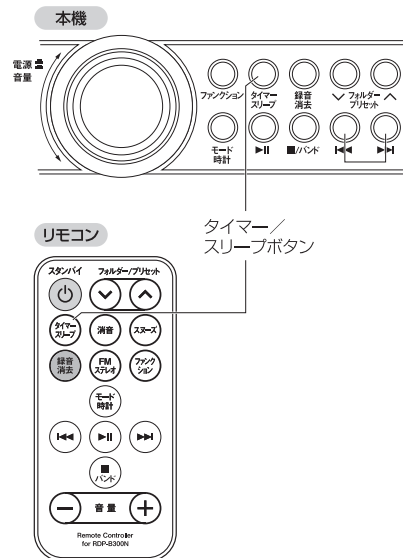
### ヒントとご注意

- 何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。
- タイマー設定を実行すると、ファンクション及び音量の設定がタイマー設定のものに変更されます。
- USBメモリーやSDカードの場合、最初のファイル(曲)が再生されます(指定はできません)。
- ファンクションとして「USB」または「CARD」が選ばれていても、該当するメディアが本機に装着されていない場合、タイマーは起動しますが音は出ません。
- タイマー設定を解除するには、電源が切れているときにタイマー / スリープボタンを押して「☉」マークを消してください。
- タイマー起動後に終了するには、本機の電源 / 音量ツマミまたはリモコンのスタンバイボタンを押して、電源を切ってください。ただし、この状態ではディスプレイに「☉」が表示されており、翌日の同時刻に再度起動します。必要に応じてタイマー / スリープボタンを押して「☉」マークを消してください。

- リモコン スヌーズ
- スヌーズ機能について：タイマーが起動しているときにリモコンのスヌーズボタンを押すと、一時的に音声が消えます(約9分後に再び起動します)。

## スリープ機能の使いかた

電源が入っているときにタイマー / スリープボタンを押すと、自動で電源が切れるまでの時間を設定できます。



- タイマー / スリープボタンを押すと、「SLEEP」と「90」が表示され、さらに押すたびに「80」、「70」と数字(電源が切れるまでの時間：分)が変化します。設定したい時間が表示されたら、押すのをやめてください。しばらくすると設定が確定し、元の表示に戻ります。



- スリープ設定が有効なときは「SLEEP」が表示されます。
- スリープ設定が有効なときにタイマー / スリープボタンを押すと、電源が切れるまでの残りの時間を一時的に表示します。
- スリープ設定を解除するには、タイマー / スリープボタンを数回押して「10」を表示させ、さらにもう一回押してください。「SLEEP」が消え、通常の表示に戻ります。

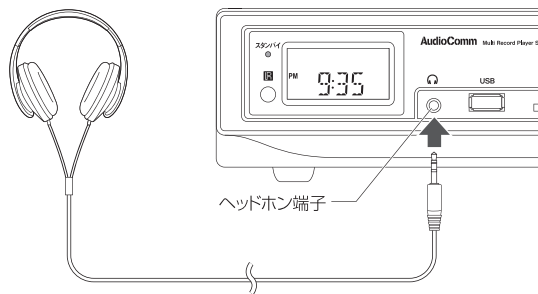


## 消音について

**リモコン** **消音** リモコンの消音ボタンを押すと、スピーカーからの音声出力が中断します。もう一度押すと元に戻ります。

## ヘッドホンで聴くときは

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。



## レコード針の交換方法

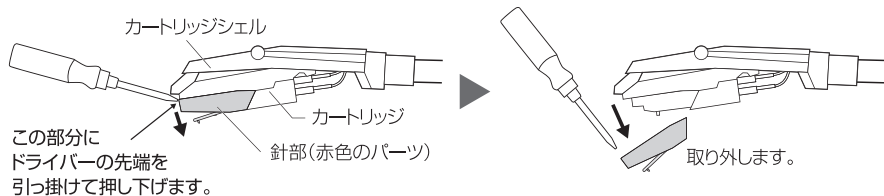
レコード針は、50時間ほど使用するとすり減って音質が悪くなり、レコード盤を傷めます。定期的に弊社指定の専用交換針にお取り換えください。

### 本機専用レコード交換針

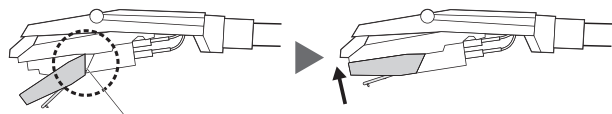
交換用レコード針 2個入り  
型番：RDP-B003N 品番：01-1260

- 1 カートリッジと針部(赤色のパーツ)の境目に、マイナスドライバーの先端を引っ掛けて押し下げ、針部を取り外します。

●カートリッジ及びカートリッジシェルを指でしっかり持ちながら行ってください。



- 2 新しい針部の根元をカートリッジにはめ込み、続いて全体を元どおりにはめ込みます。



先に根元の部分をカートリッジにはめ込み、続いて針部全体をはめ込みます。

## 故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか。
リモコンで操作できない	●リモコンのコイン形電池が消耗していませんか。 ●リモコンのコイン形電池は正しい向きで入っていますか。 ●リモコンの信号送信部や本機の信号受信部が汚れていませんか。
音が出ない	●電源は入っていますか(スタンバイ状態になっていませんか)。 ●音量が最小になっていませんか。 ●ファンクションを正しく選択していますか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。 ●消音になっていませんか(リモコンのみ操作可能)。
外部機器への出力時に音が出ない	●RCAケーブルを使って、本機の音声出力端子と外部機器側の外部音声入力端子が正しく接続されていますか。 ●外部機器の電源は入っていますか。 ●外部機器側で音量が最小または消音になっていませんか。
ターンテーブルが回転しない	●ファンクションを正しく選択していますか(「PHON」になっていますか)。 ●オートストップ切換スイッチの選択は正しいですか。「ON」のときはトーンアームをターンテーブルに近づけると回転を始め、「OFF」のときはファンクションを「PHON」に合わせた時点で回転を始めます。
トーンアームが動かない	●アームレストホルダーのストッパーがロックされていませんか。
レコードの音がおかしい	●回転スピード切換スイッチはレコードの回転数と合っていますか。 ●曲がっっていたり、そっているレコード盤を使っていませんか。
音が飛ぶ	●振動の多い場所ですっていませんか。床の振動などが本機に伝わっていませんか。 ●レコード盤に傷がついていませんか。 ●本機を水平な場所に置いていますか。傾いていると針が飛びやすくなり、音飛びの原因になります。 ●レコード盤にそりはありませんか。
雑音が入る	●レコードの針が摩擦していませんか。新しい針と交換してください。 ●針先にほこりがたまっていませんか。 ●レコード盤に静電気が溜まっていませんか(「お手入れのしかた」を参照してレコード盤をクリーニングしてください)。
レコードの回転が途中で止まる	●オートストップ切換スイッチが「ON」になっていませんか。EP盤やSP盤は標準的なレコードより演奏時間が長い場合、途中で止まることがあります。オートストップ切換スイッチを「OFF」にして、演奏終了後、手動でトーンアームを戻すようにしてください。
「ワーン」という音が出る(ハウリング現象)	●本機の置きかたや部屋の状態により発生する場合があります。置きかたや音量を調整してみてください。
ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
オートスキャンがうまくできない	●電波状況は良好ですか。電波状況が悪いと、思ったとおりにメモリー登録されることがあります。また時間帯によってもオートスキャンの結果は変わってきます。できるだけ電波状況の良い場所(窓際など)、時間帯を選んでお試しください。 ※受信状況の改善が見込めない場合は手動でのメモリー登録をおすすめします。

## 故障かなと思ったら(つづき)

症状		チェック項目
USBメモリー・SDカード	装着できない	●差し込む向きは正しいですか(上下逆に差し込んでいませんか)。
	認識しない 再生が始まらない	●本機の規格に合ったUSBメモリーやSDカードを使っていますか。 ●MP3形式以外のファイルが入っていませんか。 ●フォルダー階層が複雑だったり、ファイル数が多すぎたりしていませんか。 ●ファンクションを正しく選択していますか(メディアに合わせて「USB」または「CARD」になっていますか)。
	実際のファイル数と表示されるファイル数が違う	●メディアにコピーした際のパソコンやソフトウェアの種類、フォルダー数、コピー後のファイル操作(消去など)によって異なる場合がありますが、故障ではありません。
	SDカード内のファイルを消去できない	●誤消去防止のロックがかかっていますか。
外部音声入力	外部機器の音が出ない	●本機と外部機器が正しく接続されていますか。 ●ファンクションを正しく選択していますか(「AUX」になっていますか)。 ●本機が音量設定が、最小または消音の状態になっていませんか ●外部機器側の音量が最小または消音になっていませんか。
その他	タイマーの設定ができない	●現在の時刻を設定しましたか(現在の時刻を設定しないと、タイマー機能は使えません)。
	タイマー起動時の音量が大きい/小さい	●タイマー設定時に音量を設定しましたか。

## お手入れのしかた

### キャビネット・リモコンのお手入れ

キャビネットやダストカバー、リモコンが汚れたら、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布に吹き付けて拭き、続いてから拭きをしてください。

ただし、本機側面や背面の木質部分は、変質・変色のおそれがありますので水拭きしないでください。また、シンナーやベンジン、アルコールなども、変質したり、塗料がはげるおそれがありますので使わないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

### レコード盤のお手入れ

レコード盤にほこりやゴミが付着すると、音飛びや雑音の原因となりますので、市販のクリーニングキットなどでクリーニングすることをおすすめします。クリーニングする際は、レコード盤の溝に沿って弧を描くように行ってください。



## 主な仕様

電源	AC100V 50 / 60Hz
	リモコン：DC3V(CR2025コイン形電池)
実用最大出力	1.2W+1.2W(r.m.s)
消費電力	12W
形式	マニュアル機構
回転速度	33回転、45回転、78回転
レコード針	サファイア針
駆動方式	ベルトドライブ
ラジオ受信周波数	AM：522～1629kHz FM：76～108MHz
アンテナ	AM：フェライトバーアンテナ(内蔵) FM：ワイヤーアンテナ
入力端子	USB端子、SDカードスロット、AUX IN端子(φ3.5mmステレオミニジャック)
出力端子	ヘッドホン端子：φ3.5mmステレオミニジャック、音声出力端子：RCA(赤/白)
対応メディア	USBメモリー：32GBまで SDカード：32GBまで
ファイル形式	再生：MP3(64～192kbps) 録音：MP3(128kbps)
時計精度	月差 約60秒
外形寸法	本体：幅312×高さ125×奥行289.5mm(突起物含まず)
	リモコン：幅40×高さ86×奥行7mm
質量	本体：約2.1kg
	リモコン：約13.5g(コイン形電池含む)
付属品	専用リモコン(動作確認用コイン形電池装着済み)、EP盤用アダプター(本機内に装着)、保証書付取扱説明書

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※メディア及びファイル形式が上記に適合していても、仕様などにより本機で再生・録音できない場合があります。

※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### ●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### ●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。